

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課 保険係
担当者名	田原 香利
連絡先(電話)	0846-62-0301

タイトル	1 健康の維持・介護予防の推進 住民主体の通いの場（いきいき百歳体操）の継続支援
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題

身近な場所で、住民主体の通いの場の立ち上げ箇所数並びに参加率は、目標を達成している。今後は、これらの場の維持・継続をしていくことが重要である。高齢化・少子化・過疎化の進展が今後も予測されていることから、お世話人の世代交代をいかにスムーズに行っていくかが課題である。

第9期（令和6年度）における具体的な取組

後期高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施の事業の実施担当課である保健衛生課の主催で連絡会議の開催や、福祉課が主催する地域リハビリテーション活動連携会議で、内容の確認や調整を行いそれぞれが役割分担を行い実施した。

福祉課の役割は継続支援として、療法士と地域包括の地区担当者を開催会場へ派遣し、地域から希望の多かったテーマの話を療法士に、介護保険事業計画についての説明を包括にしてもらった。また、交流会を実施し、他地区の実施状況などの情報交換等を実施した。

目標（事業内容、指標等）

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
いきいき百歳体操実施目標カ所数	31カ所	31カ所	31カ所
いきいき百歳体操目標参加率	14.0%	14.5%	15.0%

目標の評価方法

計画目標値との比較により評価する。

評価時期は、広島県の調査に合わせて集計評価する。（毎年度末の数値を使用）

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容

住民主体の通いの場開設数は、令和5年度末までの目標数30ヵ所に対して、令和5年度中に31ヵ所となり計画したすべての地区でいきいき百歳体操が開始され令和6年度も継続実施できている。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標ヵ所数	20ヵ所	31ヵ所	31ヵ所	31ヵ所
目標参加率	14.0%	14.0%	14.5%	15.0%
	31ヵ所	31ヵ所		
登録者数	486人	522人		
参加率	14.9%	17.3%		

自己評価結果 【◎】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

いきいき百歳体操の実施箇所数と参加者率の目標を達成している。

課題と対応策

1. 後期高齢者率の増加により、お元気でも、介護保険サービスは必要ないがちょっとした日常生活での困りごとに対応できるご近所同士の助け合いが必要となってくる。単なる体操の場としてではなく、地域の助け合いの場となるような働きかけが今後必要である。
2. 体操の継続や世話人の後継者の確保が課題である。年1回の地区訪問と交流会を実施し状況の把握を行いたい。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」